

令和7年度第8回運営委員会議事録(最終版)

- 日時:令和7年1月26日(月)19:00～21:00
- 場所:WEB会議(ZOOM使用)
- 参加:鈴木勝行、宮崎弘子、佐藤英人、大熊勝、松本明世、真野博、廣川千恵子、
山本悦男、山本実穂、川島秀男(欠席)、沢田典大、渡邊勇
- 議長:鈴木勝行
- 書記:宮崎弘子
- 資料:議題、シンポジウムチラシ、要望書資料

1. 新たな資材倉庫の進捗状況について

- ・1/16(金)加藤商店の倉庫を見学し広さ(4 畳半くらい)の確認をした。(山本、大熊)
- ・2/2(月)9:00 高坂倉庫に集合し、荷物運搬、単管パイプの棚解体、新倉庫(加藤商店)への移動。(鈴木、山本、大熊、真野、松本、佐藤)
工具(ドライバー、スパナ、のこぎり等)を各自持参すること。

2. 第29回荒川流域再生シンポジウム「荒川・入間川における河川事業」について

(目的) 河川環境の現状を共有するために、埼玉県・国との情報交換の場とする。

(日時) 3月22日(日) 13:00 受付開始 終了 16:30

(進行) 廣川

(スケジュール)

13:30 開会

13:35 事業報告 埼玉県県土整備部河川環境課・河川砂防課の報告 (60 分)

14:35 活動報告 入間川のアユ遡上状況について(埼玉県魚類研究会 金澤光) (25 分)

15:00 事業報告 河川環境改善についての要望書について(20 分)

報告:山本悦男(荒川流域ネットワーク)

15:20 休憩

15:30 みずかけ“サ”論

テーマ:荒川流域の河川環境の課題と今後

コーディネーター:真野博(荒川流域ネットワーク)

16:30 終了

(広報)

・チラシ 200 部印刷

配布先:記者クラブ(鈴木)、川の再生交流会・川の日ワークショップ(沢田)

関係者にお知らせを配信(鈴木)

・HP 公開 チラシ最終版の作成に合わせて(佐藤) FB アップ(宮崎)

(その他)

・パソコン対応(宮崎)

・へちまタワシの提供(生活クラブ生協鶴ヶ島支部作製品)

3. 河川環境改善についての要望書について

県・国へ要望書提出のために準備した写真資料で、入間川菅間堰、都幾川長楽堰、高麗川中里堰、高麗川五号堰の現状について説明(鈴木)

《説明内容》

1) 菅間堰の魚道

2017 年 4 月:段差がほぼなく、魚が上れる状態であったが、2024 年(7 年後):川底が 50cm 以上(最大 1m 近く)下がり、魚道に水が入らなくなった。

コンクリートブロックが落下し魚道が機能していない。堰堤自体が壊れる可能性も出てきた。

2) 長楽堰

落差があり、魚が上れない状態。

水量の多い期間が少なく、全量が長楽用水に入ってしまう。

堰堤のスロープ下に魚道がないため、50cm の段差をジャンプして上ることができない。

以前の要望に含まれていなかったため、再度要望を出す。

3) 中里堰

魚道設置を県に要望したが、手がつけられていない。

4) 五号堰

大きな落差があり、非常に困難な状況であり、魚が上流に上がれない

これらの資料を使って、県と国の両方に現状を説明し、改善を求める予定です。

- ・提出先:埼玉県(河川環境課と河川砂防課)、国土交通省(荒川上流河川事務所)

- ・内容:4 カ所の堰における魚道の問題点と改善要望

- ・県からの要望:国管轄の河川なので荒川上流域河川事務所に「要望書」をもっていつてほしい。

- ・荒川再生シンポジウム(3/3)において報告(山本)

4. 全国水質マップ実行委員会報告(渡邊)

- ・12 月 6 日の実行委員会について報告

- ・2026 年度の参加申し込みは 3 月 10 日まで。

⇒2 月になったら各団体に参加意向及びパックテスト必要数の確認メールを送信(大熊)

- ・使用後のパックテストの共立化学への返却について意見交換を行った。

5. その他

①内規について

交通費精算は20円/kmを確認。シンポジウムで精算するので、それまでに今年度事業でのガソリン代、公共交通料金を請求すること。(宮崎)

②森里海をつなぐプロジェクト「交流会」、2/16(月)17:00～ 東京ガス本社

⇒鈴木 参加予定

次回

令和7年度第9回運営委員会WEB会議(ZOOM使用)

日時:2026 年 2 月 23 日(月)19:00～20:00